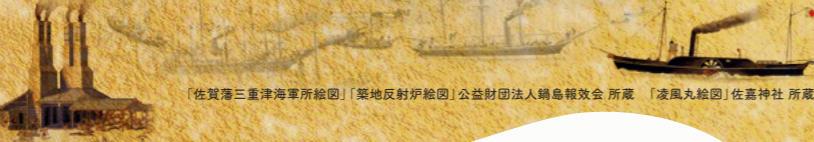




佐賀幕末維新紀行

～ 維新の風に想いを馳せる～



佐賀の文教振興の礎に

受け継がれる直正の「志」



鹿鳴館で、栄子夫人が着用した和洋折衷のハッスル・ドレス。(鍋島報効会所蔵)

明治維新後、日本は国際社会の仲間入りしようとして、欧米文化を積極的に取り入れます。外国の要人を招いて舞踏会が盛んに開かれた鹿鳴館(東京都日比谷の帝国ホテル隣)は象徴的な存在ですが、ここで活躍したのが10代藩主・鍋島直正の嫡男で11代藩主の鍋島直大でした。

直大は廃藩置県が行われた1871年から7年余り英国に留学し、1880年からイタリア特命全権公使を務めた国際派。帰国後、明治天皇の側近として宮中儀式を取り仕切る役職を務めながら、栄子夫人とともに本場仕込みの社交術で「鹿鳴館外交」に力を尽くしました。また、栄子は約半世紀にわたって日本赤十字社の篤志看護婦人会会長を務めるなど、社会活動にも積極的に参加しています。

1913年、大隈重信を委員長に委員会が組織され、鍋島直正の銅像が県内外からの寄附により完成。藩校弘道館の跡地に隣接した佐賀中央

に落成式が行われたこの「佐賀図書館」は、後に県立図書館へと引き継がれます。

そして、1927年、この場所に県内初の博物館として「徴古館」が開館。創設した鍋島家12代当主・直映は、郷土の史跡や偉人の遺跡を保存して次代へ引き継ぎ、文化の源を探求する施設が必要だと考えたのです。

その後、徴古館は鍋島家の貴重な伝来品を紹介し、後世に伝える施設として、今なお佐賀の文教振興の一翼を担っています。(協力・佐賀新聞社)

これに感謝した直大は、園の一角に県内初の私設図書館「佐賀図書館」を開設。かつて藩士が学んだ場所に、再び人々が集い学びを深める。それは、人づくりに情熱を傾けた直正の「志」を受け継ぐものでした。銅像の除幕式と同じ

徴古館ができて間もない1935年ごろの銅像園。直正の「人づくり」の志を受け継ぐ文教の拠点だった。(鍋島報効会所蔵)



これに感謝した直大は、園の一角に県内初の私設図書館「佐賀図書館」を開設。かつて藩士が学んだ場所に、再び人々が集い学びを深める。それは、人づくりに情熱を傾けた直正の「志」を受け継ぐものでした。銅像の除幕式と同じ

関係した偉人

鍋島直大(1846-1921)

16歳で跡を継ぎ、明治14年の政変で下野した大隈重信が設立した東京専門学校(後の早稲田大学)の支援に尽力。晩年は大隈とともに佐賀育英会を創設し、郷土の人づくりに貢献した。



(注) 明治改暦以前に生まれた人物の年齢については、数え年で表記しています

徴古館

昭和初期の本格的な洋風建築。正面にギリシャ様式の列柱を配した曲線的な外観は、当時そばにあった直正銅像の台座の装飾を模し、景観の調和を図った。(1997年国登録有形文化財)

場所 佐賀市松原2丁目5番22号
☎0952(23)4200(公益財団法人鍋島報効会)

鍋島家の雑祭り

2月11日から佐賀市内で開催する「佐賀城下ひなまつり」。徴古館はメイン会場の一つで、明治から昭和初期の侯爵鍋島家の歴代夫人のひな人形を展示。幅6mと5mの豪華な大雛壇が目玉。

会期 2月11日～3月31日(会期中は無休) 開館時間 10:00～17:00
入館料 300円(佐賀城下ひなまつり共通券は600円)



さがスポ インフォメーション

佐賀を代表するトップチームの試合を紹介!



神崎市をホームとするトヨタ紡織九州の男子ハンドボールチームです。

2月16日[土] 15:00～ VS 琉球コラソン
2月17日[日] 15:00～ VS 湧永製菓

会場 神埼中央公園体育館



チケットお問い合わせ

トヨタ紡織九州(株)
☎090(1116)4953

詳しくは スポーツ課 ☎0952(25)7334

県立文化施設 イベントスケジュール

施設名	2月	3月上旬
博物館 美術館 ☎0952(24)3947 (佐賀市)	吉岡徳仁 ガラスの茶室 - 光庵 ●2/11(祝・月)まで 内山孝 -カンヴァスの陽光- ●2/14(木)～28(木) 【炎熱】1984(昭和59) 油彩・カンヴァス、第16回日展	
佐賀城本丸 歴史館 ☎0952(41)7550 (佐賀市)	佐賀城下ひなまつり関連イベント 「子どもひなの宴」 ●2/16(土)～3/7(木) 歴史館ゼミナール(第173回) 「幕末佐賀藩における殖産興業の取り組み」 講師/佐賀城本丸歴史館学芸員 ●2/23(土) 13:30～15:00	
名護屋城 博物館 ☎0955(82)4906 (唐津市)	名博コレクション展 第2部 ●2/1(金)～3/24(日) なごや歴史講座 「城下のくらし - 肥前名護屋の暮らしを考える -」 ※要資料代 ●2/17(日) 13:30～15:00	正相宜 飛雲 更紗 可舟 龍堂 逸流 洪浩然 李白詩屏風 (佐賀県重要文化財)
九州陶磁 文化館 ☎0955(43)3681 (有田町)	第33回 有田窯業大学校 卒業制作展 ●2/19(火)～24(日) 第30回 九州陶磁器デザイナー協会展 ●2/26(火)～3/3(日)	
宇宙科学館 ☎0954(20)1666 (武雄市) ※要観覧料	サタデーナイトプラネタリウム ※毎週土曜日 18:00～18:50 ※要プラネタリウム観覧料 定員/190名 天体観望会 ※入場無料 ※晴れた日のみ開催 ※毎週土曜日 19:00～20:30(受付は20:00まで)	

休館日 毎週月曜日(祝日・休日のときは翌日/九州陶磁文化館は翌日も開館)、ただし博物館・美術館、佐賀城本丸歴史館は、無休。図書館は、2月27日(水)休館 ※毎月最終水曜日 公文書館は毎週月曜日

催しもの

東京2020オリンピック・パラリンピック フラッグツアー フラッグ歓迎イベント

全国を巡回しているフラッグツアーが佐賀で開催され、フラッグツアーアンバサダーで柔道家の古賀 稔彦さん(みやき町出身)によるトークイベントも予定しています。

とき 2月4日(月) 12:15～13:00

ところ 県庁1階 県民ホール(佐賀市城内)

イベント後、県内の20市町で展示されます。

巡回期間 2月6日(水)～3月1日(金)

主催:東京都/東京2020組織委員会/JOC/JPC

詳しくは スポーツ課 ☎0952(25)7331



©日本スポーツエージェント フラッグツアーアンバサダー 古賀 稔彦さん

2月実施 パブリック・コメント
ご意見をお寄せください

[2月1日～2月28日]
●平成31年度佐賀県食品衛生監視指導計画(案)

[2月1日～2月28日]
●佐賀県内水面漁場管理委員会指示(案)

[2月中旬～3月中旬]
●佐賀県総合計画(骨子案)

[2月中旬～3月中旬]
●佐賀県財政運営計画2019(仮称)

[2月中旬～3月中旬]
●佐賀県「食」と「農」の振興計画2019(仮称)骨子案

[2月20日～3月20日]
●佐賀県個人番号等の利用及び特定個人情報情報の提供に関する条例を一部改正する条例(案)

詳しくは 広報広聴課 ☎0952(25)7351

佐賀県 パブコム 検索

佐賀県の推計人口 平成30年12月1日現在

人口 818,752人(前月比259人減)
男:387,521人 女:431,231人

世帯数 310,808世帯(前月比124世帯増)